

**厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）**  
**（分担）研究報告書**

**研究開発課題名：**iTesting チャンネルによる HIV 検査体制の構築と確立のための研究

課題管理番号：22HB0101

研究分担者：野口 靖之（愛知医科大学産婦人科 准教授）

**研究要旨**

プライベートクリニックに iTesting への協力を得ることで、地域に HIV 感染症、梅毒に関する検査窓口 (iTesting@clinic) を設置することが可能になる。iTesting 受験者からは、土曜日に営業している医療機関で検査を受けたいとの強い要望があり、iTesting@clinic の導入は、土曜日や 17 時以降にアクセス可能な検査機会を希望者へ提供することが可能になる。本研究は、iTesting@clinic への協力を得られやすいプライベートクリニックの業態を明らかにすることを目的とした。対象となるプライベートクリニックにアンケート調査を計画し、事前にヒアリング調査を行ったところマンパワーや採算性など運用上の問題点が明らかになった。今後は、プライベートクリニックの業種別にアンケート調査を実施し、導入への問題点を具体化する必要がある。

**A. 研究目的**

愛知県内における HIV 感染者・エイズ患者数は、年間 100 名前後の報告が継続している。特に、医療機関への受診機会の少ない 20～30 代の HIV 感染者・エイズ患者数が半数以上を占める。HIV 感染症は、AIDS 発症前に治療を開始すれば致死的な感染症でないため、早期診断することが極めて重要である。また、梅毒は、国内外で人的移動制限措置がとられたコロナ禍においても増加がみられ、梅毒検査を簡便に受けることができる検査機関の整備が国内で求められている。

iTesting@Aichi&NMC は、HIV 及び梅毒感染に不安を持つ一般市民に対して匿名で HIV・梅毒検査を実施し、これら感染症の蔓延防止に成果をあげている。しかし、iTesting@Aichi&NMC の受付時間は、平日の午後 1 時～3 時に制限され、土曜日に検査を希望する声も少なくない。このため、プライベートクリニックへ iTesting への協力を依頼し、地域に検査窓口 (iTesting@clinic) を配置することで、土曜日や 17 時以降にアクセス可能な検査機会を希望者に提供することを検討した。本研究は、iTesting@clinic への協力を依頼するにあたり協力を得られやすいプライベートクリニックの業態を明らかにすることを目的とした。

**B. 研究方法**

陽性受検者の受診が名古屋医療センターで把握できる愛知県、岐阜県、三重県のプライベートクリニックを中心とした医療機関を iTesting@clinic の対象とした。事前調査として婦人科プライベートクリニックにヒアリングを実施した。

**C. 研究結果**

- ◇ HIV 感染症、梅毒検査に対する保険診療で収益をあげているクリニックで iTesting@clinic に参加するメリットがあるのか？
- ◇ iTesting@clinic に関する説明や検体管理にマンパワーを要する。手数料などの金銭的な支援はあるか？
- ◇ 性風俗のスクリーニングは、匿名で実施されると陰性証明としての役割をはたさないのでは？との意見が得られた。

**E. 結論**

プライベートクリニックは、施設によって診療内容や運営形態が多彩である。さらに、検査に関する説明や検体管理に要するマンパワーにも制限がある。今回実施した事前ヒアリングにより、iTesting をプライベートクリニックに導入するためには、実施可能なプライベートクリニックの業務形態を明確にし、障害となる問題点を具体化する必要があると考えられた。公的機関でないプライベートクリニックへの iTesting 導入は、業務負担や採算性の配慮が必要であり容易ではない。しかし、プライベートクリニックの協力を得られれば、受験者より希望の高い「土曜日も営業している病院クリニックでの検査」が可能になる。受験者を増加させる上で、導入への問題点を具体化が必要であると認識した。今後は、業務形態の異なるプライベートクリニックとして婦人科クリニック、泌尿器科クリニック、人間ドッグ、メンタルクリニック、各 3～5 カ所を対象にアンケート調査を実施して iTesting@clinic 導入の障害となる問題点を具体化する。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 野口靖之, 南谷智之. 感染症対策 AYA 世代の性感染症. 産婦人科の実際. 2022;71(10):1069-74.
- 2) 岡本宜士, 斎藤拓也, 野口靖之, 若槻明彦. 大量性器出血を伴う子宮頸部筋腫に対して緊急 UAE と筋腫核出術により子宮を温存し得た 1 例. 東海産科婦人科学会雑誌. 2022;58:221-5.
- 3) 野口靖之. 病態生理を踏まえた薬物治療・薬学管理へ感染症 性感染症. 薬局. 2022;73(4):1374-80.
- 4) 野口靖之, 嶋津 光真. 【外陰疾患 A to Z】感染症 性器ヘルペス. 産科と婦人科. 2022;89(1):27-30.
- 5) 森本翔太, 岩崎愛, 渡辺員支, 杉山冴子, 斎藤拓也,

野口靖之, 若槻明彦. 腹腔鏡下子宮筋腫核出術によるパラサイトミオーマの発症リスクに関する検討. 産婦人科の実際. 2022;71(1):105-11.

### 2. 学会発表

- 1) 当科で経験した AYA 世代活動性梅毒の検討（一般演題）第 37 回日本女性医学学会学術集会（米子）2022. 11. 12
- 2) 当科で経験した非妊婦における活動性梅毒 6 症例の検討（一般演題）第 38 回日本産婦人科感染症学会学術集会（東京）2022. 5. 8

## H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし。